



OTOH
伍桃

NIIGATA UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE AN ALUMNI BULLETIN 新潟医療福祉大学 同窓会誌

NEWS LETTER

2017.9



INDEX

- 第5回 連携研修会開催のお知らせ.....P02
- Nozokimi ! 救急救命学科.....P03
- 同窓会×伍桃祭コラボイベント あそびのひろば.....P03
- 学科近況報告.....P04



救急救命学科
木村泰伍さん(左) 渡邊千早紀さん(中央) 北村樹さん(右)
新学科の第一期生として初々しい笑顔を見せるが、その胸には
熱い思いを滾らせている。



NICE!

新潟医療福祉大学同窓会



第5回 連携研修会 開催のお知らせ

母校 新潟医療福祉大学を会場とし、第5回目となる『連携研修会』を開催いたします。今年度は、「糖尿病」をテーマに**健康栄養学科×臨床技術学科**の連携を考究いたします。また、本研修会は**健康運動指導士**および**健康運動実践指導者の資格登録更新単位**を取得できる講習会も兼ねております。この機会に是非、連携研修会にご参加ください。

開催日時	2017年11月11日土 13:30~16:30
場 所	新潟医療福祉大学 第2講義棟 Q202講義室
テ マ	『糖尿病の理解と支援の方法 ～チームアプローチの現状と課題～』
参 加 費	無料
申込方法	同封の参加申込ハガキにてお申込みください。 【10月31日必着】(問合せ:同窓会支援室 025-257-4500)
認定単位	本研修会は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として 講義2.7単位 が認められます。(認定番号:176589)

第一部

13:30~15:00 特別講演



【第一講演】『一緒に学ぼう・考え方糖尿病治療 ～チーム医療と体験型栄養教育からの経験～』

講 師

高橋 洋平 氏(健康栄養学科2009年卒 上越総合病院勤務)

管理栄養士、新潟医療福祉大学大学院 健康科学専攻 健康栄養学分野2014年修了
病態栄養学会会員、摂食嚥下リハビリテーション学会会員、静脈経腸栄養学会会員



【第二講演】『糖尿病と腎障害～特に糖尿病性腎症について～』

講 師

追手 巍 氏(新潟医療福祉大学 臨床技術学科 学科長／教授)

医師、日本病理学会功労会員、日本腎臓病学会功労会員、世界腎臓病学会会員
研究領域：実験病理学、腎臓病学、微小循環動態学など、腎臓疾患の成り立ち
や腎臓を中心とした微小血管における血行動態を研究



第二部

15:15~16:30 多職種連携実例報告

『血液透析患者に対するチームアプローチ』

報告：医療法人新光会 村上記念病院様 (新潟県村上市)

北林 純 氏 (管理栄養士 健康栄養学科2005年卒) 小野 瞬 氏 (理学療法士 理学療法学科2013年卒)
稻葉 勇武 氏(臨床工学技士 臨床技術学科2015年卒) 小林 真依 氏(臨床検査技師 臨床技術学科2017年卒)



「連携研修会」って？

新潟医療福祉大学同窓会では、同窓生の交流と卒後教育・生涯教育の場を充実させるとともに、大学での連携教育を踏襲し、専門職として活躍している同窓生同士の「連携」をテーマとした『連携研修会』を2013年より毎年開催しています。今では同窓会の中核を担う事業となっています。

2016年:HS×多職種連携研修会の様子▶



Nozokimi!

——ノゾキミ!——

新潟医療福祉大学の気になるトピックスをノゾキミします!

救急救命士(国家資格)に加え、 関連する多様な資格取得が可能

「救急救命士国家試験受験資格」を取得するごとに加え、独自カリキュラムにより「防災士資格」の同時取得が可能となっている。多様な資格取得にも対応し、マルチライセンスの取得を目指すことができる。



国内最高クラスの施設・設備で 「実践力」を身につける

実習棟内には2LDKタイプの住居スペースが4区画設置されている。救急活動で使用する様々な医療器材を豊富に揃えている他、救急車(実車)が常駐しており、走行時の揺れや狭い空間での処置などを体験的に学べる。国内最高クラスの教育環境で高度なシミュレーション教育が日々行われている。

55名の学生が「救急救命士」 を目指し歩み始めた

55名の中には女性もいる。今回の表紙にご協力いただいた渡邊さん(写真中央)は「父が消防士でたくさんの人を助けてきた姿を幼いころからみてきて、父のように多くの人を助けたいと思い、救急救命士を目指そうと思いました。」と笑顔で語ってくれた。55名の学生はそれぞれの想いを胸に、救急救命学科でのスタートを切っている。



同窓会×伍桃祭コラボレーションイベント

あそびのひろば

参加費
無料

同窓会では今年度も、伍桃祭(大学祭)と同日にご家族で楽しめる企画をご用意いたしました。「パパ＆ママ」になった同窓生の皆さんもお子さまと一緒に母校へ遊びにきてください!!

- 日時／2017年10月8日(日)10:00～16:00
- 会場／新潟医療福祉大学 第2体育館



あそびのひろば
様々な「あそび」や「運動」で
からだを動かそう!!

※水分補給のために飲料などは
ご持参ください。



キッズ・ファミリー写真

撮影:FUN COMPANY
(AM: 清水／PM: 小林)



同窓生は3カット無料
(一般の方は1カット無料)

※オプションプランもございます。(料金別途)
※撮影者が多い場合は途中で受付終了とさせていただきます。



心身リフレッシュ

YOGA

インド政府公認
YOGAインストラクター
Momo
(健康スポーツ学科2009年卒)

14:00～



毛ぐるック体験

安心・無添加・
自然の空気を感じる
木製ブロック



その他、
たこやき、アイスの
販売もあります。



イベント内容は都合により急遽変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

同時開催!! 新潟医療福祉大学 伍桃祭

10月8日(日)・9日(祝月)の二日間は、伍桃祭(大学祭)も開催中です! 様々なお店や企画が目白押しされてます!!



住所が変わったら…

フォーマットに変更事項
を記載して送信ボタンを
クリックするだけ!
カンタンです!



同窓会へのご要望やご質問は下記までどうぞ!

新潟医療福祉大学同窓会

問い合わせ先： 新潟医療福祉大学 事務局内 同窓会支援室
新潟市北区島見町1398番地

メールアドレス | dosokai@nuhw.ac.jp
電話番号 | 025-257-4500



学科近況報告

PT

理学療法学科

助教 犬飼 康人



2016年度より120名定員となり、日本最大の理学療法士養成校となりました。教員も増員され、33名となり、本学科の卒業生である小島翔先生(7期生)、高林知也先生(8期生)、宮口翔太先生(8期生)、平林怜先生(9期生)の4名も赴任されています。その一方で、亀尾徹先生、星孝先生が昨年度で退職されました。卒業研究についても、昨年度より人類学・解剖学Lab、神経・筋・骨



組織Lab、神経生理Lab、運動生理Lab、スポーツ医学Lab、バイオメカニクスLab、ヘルスプロモーションLab、応用理学療法Lab(運動器・呼吸器)のいすれかに所属し、専門的な研究指導を受ける新しいスタイルとなりました。

卒業生の皆様には、実習、就職等でお世話になることもあるかと存じます。今後も温かいご支援をお願い致します。

AT

義肢装具自立支援学科

助教 郷 貴博



本学科は、昨年開設10周年を迎え、本年3月には学科開設10周年記念式典・祝賀会を開催し、特別企画として澤村誠志先生よりご講演をいただきました。企画・運営には学科教員はもとより卒業生、在学生にも協力していただき、全国各地より義肢装具分野のみならず福祉用具分野、靴分野、車いすシーティング分野の企業様にもお越しいただき盛大な祝賀会となりました。さらに「世界で活躍する義肢装具育成」を実現するためISPO(国際義肢装具協会)のCategoryI取得を目指し、本格的に取り組みが進んでおり、早ければ来年度にはCategoryIを取得できる予定です。今後は学科同窓会を本格的に始動させ、卒業生との交流をさらに強化したいと考えています。引き続きご協力をよろしくお願い致します。



EM

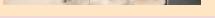
救急救命学科

教授 竹井 豊



救急救命学科は2017年4月に救急救命士国家資格の取得を目指した学科として新設されました。救急救命士は重篤な傷病者を医療機関へ搬送するまでの間に、医師の指示のもと救急救命処置を行なうことができる病院前救護に特化した医療系の国家資格です。救急救命士は、様々な救急疾患、事故や災害などにより救急搬送が必要な傷病者に対して、その状態を把握し、必要な処置を施しながら医療機関まで搬送する“プレホスピタルケア(病院前救急救命)”の中心として大きな責務を担っています。

さて、現在55名の一期生が救急救命士を目指し勉学に励んでいるところですが、学生の多くは将来消防機関への就職を希望しています。救急救命学科では国家資格と公務員試験の二つの壁を全員が超えられるようにきめ細やかな指導を行っていく所存です。今後とも救急救命学科を温かく見守っていただきたい幸甚に存じます。



NR

看護学科

講師 石塚 敏子



2018年度4月から看護学科は「看護学部看護学科」となり、定員107名となります。そして、高性能シミュレーターを配置するシミュレーション教育センターを新設するため、現在、K棟の隣に校舎を増築中です。これまでの校舎内部も改修し、3階の成人・老年看護室には成人のシミュレーターを配置、さらに2階には小児・妊婦のシミュレーターが配置されます。シミュレーション教育センターでは、現場ながらのリアルな状況の中で看護を学び、実践力を高めていくことを目的にしています。

8月5日、6日に行われた夏のオープンキャンパスでは、各日150名以上の高校生が来校し、これまでになく多い参加者数でした。在校生も高校生に優しく、高校生をひきつけていました。

卒業生の皆様、どうぞ機会を作つて大学においてください。成長した皆さんに会えるのを楽しみにしております。新しい看護学科の校舎でお待ちしていますね!



同窓生の皆さん、お元気ですか？ 各学科の近況をお知らせいたします。

OT

作業療法学科

助教 藤目 智博



2015年より国際交流協定を結んだケインズ大学(カナダ)と継続して交流を行っています。2016年は本学より15名の学生がケインズ大学にて講義を受け、カナダの医療施設の見学をしてきました。2017年には3名の学生が来学され、引率教員とともに国際シンポジウムや学生交流会が開催されました。引き続き、教育、研究での交流を行う予定です。

教員におきましては、永井先生が2017年4月より特任教授に就任され、引き続き学生指導に携わって頂いております。

本学科は、2016年に完成した第2講義棟(Q棟)3階に移動しました。お近くにお越しの際は、どうぞ気軽に立ち寄りください。



CT

臨床技術学科

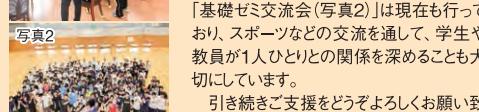
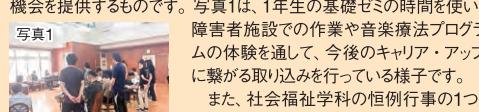
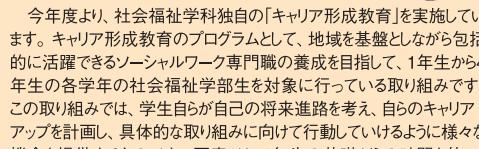
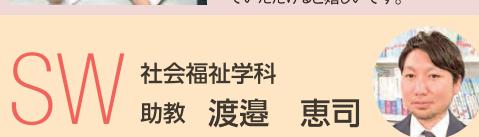
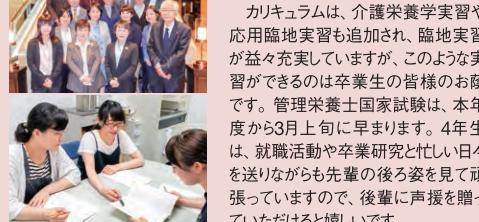
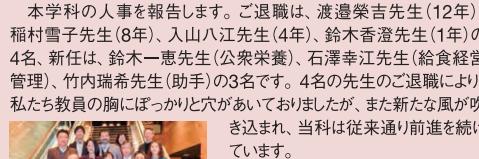
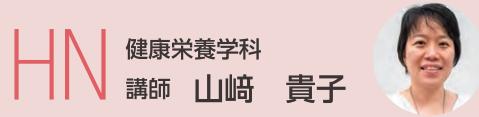
助教 高橋 良光



2017年4月で7期生を迎えた臨床技術学科は、臨床工学技士と臨床検査技師の国家資格取得を全員を目指すチャレンジ精神旺盛な学科です。4年生が11月頃になるとこんな言葉をよく耳にします。「先生、人生でこんなに勉強したのは初めてです。」学生さんが大学受験勉強以上に勉強熱心に取り組んだ結果は卒業後でも垣間見ることができます。

最近、全国の学会会場で卒業生に出会うことが急激に増えたと感じています。一期生はすでに3年目として臨床業務だけでなく学

会活動にも取り組んでいます。私は抄録集を開き懐かしい名前を見つけるといつい足を運んでいます。逆に卒業生は大学の名前を見つけて後輩の発表の応援に来てくれるため、とても頼もしく感じます。このような卒業生の成果は在学生の原動力のみならず我々教員の原動力にも繋がっている日々感じています。これからますます活躍できるよう、お互いチャレンジしていきましょう！



ST

言語聴覚学科

講師 内山 信



今年の2月に行われた第19回言語聴覚士国家試験において、本学科の合格率は全国平均を大きく上回り、学科としても過去最高の97.5%でした。今後もこのように高い合格率を維持し、さらに向上できるよう教員一同頑張って参ります。また、国家試験対策の一つとして卒業生による講話をを行っております。今年は13期生の斎藤裕也先生より国試受験の体験談をご講演頂きました。毎年、受験生

に大変評判がよく、今後も行って参ります。皆様には講師のご依頼をさせて頂くことがあるかもしれません。その節は何卒よろしくお願い申し上げます。

一方、3年生は秋から評価実習が始まります。こちらも嬉しいことに、卒業生の皆様に実習指導者としてご指導頂ける施設が増えて参りました。実習地訪問の際などに、皆様にお会いできる事を教員一同楽しみにしております。

CO

視機能科学科

教授 前田 史篤



2014年4月に新設された視機能科学科ですが、今年はいよいよ完成年度を迎える、一期生51名が国家試験に挑戦、そして視能訓練士として社会へ進出することになります。

写真1は視機能科学科の開設と一期生入学の記念として、第8研究実習棟の前で撮影したものです。1年次の頃は初々しい表情の中に緊張感が見え隠れしていた一期生ですが、4年次の臨床実習を終えた現在は大人びた表情、そして落ち着いた振る舞が板につくようになりました。その変化に教員一同驚きと確かな手応えを感じているところです(写真2は外部からの来訪者に対する視力検査を実施している様子です)。

同窓生の皆様におかれましては、どうぞ視機能科学科の一期生を温かく迎え入れていただき、今後の活躍と発展にお力添えをいただければ幸いです。ご高配の程よろしくお願い致します。

HS

健康スポーツ学科

助教 下門 洋文



現在の健康スポーツ学科は学生が854名、教員も42名と学内最大となりました。硬式野球部から新潟県内初のプロ野球選手が誕生し、水泳部と陸上部からはユニバーシアード代表が選出され、馬場先生も代表コーチに選出されています。男子サッカー部は天皇杯で新潟県代表として出場し、プロと正々堂々と戦いました。

また、資格対策の新たな取り組みとして、E-learningシステムを利用するようになりました。2016年度は健康運動指導士の合格率が79.3%でした。教員採用試験にも昨年度は1次試験で5名、今年度は10名が突破するなど、結果として現れるようになっています。

学科の活動が充実しているのも卒業・修了生の皆様が確を築いて下さったおかげです。皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念しております。

卒業・修了生の皆様が確を築いて下さったおかげです。皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念しております。

HI

医療情報管理学科

教授 柴山 純一



本年度から新たに淡島正浩先生と谷賢太朗先生をお迎えしています。4年生は就職活動と少し開始時期が早まった卒業研究で忙しいです。3年生はちょうど学外実習で、もしかすると先輩方にもお世話になっているのではないでしょうか。これからの中進路を考える時、先輩のアドバイスはとても貴重なものです。その際はご指導お願いします。

3年生6名が9月に札幌で行われます「第43回日本診療情報管理学会学術大会」での発表に向け準備を進めているところです。これは、来年(2018年)9月20、21日に本学山本学長を大会長に当学科が担当し、朱鑑ミッセで行われます「第44回大会」への準備の一つです。医療関係に進まれたみなさま、ぜひ、来年の大会に最新動向の学習とともに、懐かしい方々と近況の情報交換をかねてご参加いただければ幸いです。

卒業生が築いてくださったおかげで学科の活動も充実しています。今後ともよろしくお願いします。

